

決算書が読めない
社員はいらない

木村俊治

はじめに

私は公認会計士です。ですから、仕事の中で様々な決算書を読む機会がありますが、最初から決算書を読めたわけではありません。「決算書を読めるようになったな」と初めて思えたのは、会計士として仕事をして5～6年たってからだと思います。

「公認会計士なのだから、決算書は読めるでしょう」と思われるかもしれませんが。確かに私は会計士になる前には簿記を勉強しましたし、会計士になってからも、決算書の読み方の本や財務分析の本を読んだりしていました。でも、最初の頃は、決算書を読めたつもりになっていただけでした。決算書に多くの分析手法をぶつけて、出てきた数値を報告したり、ながめて満足していただけでした。

決算書に出会う機会があったにもかかわらず、このような体たらくになってしまった原因として考えられるのは、次の3つのことがあったからです。

1. そもそも決算書を読むことの意味を知らなかった
2. 決算書を読むための順序・コツそして、分析手法の重要度を知らずに、無謀にも決算書を読もうとしてしまった
3. 決算書を読めることのメリット、読めないことのデメリットを知らなかった

私は上記のような状態から、試行錯誤を繰り返して決算書が読めるようになるまでに時間がかかってしまいました。

でも、この本を読まれる人は私のように試行錯誤することなく、本書の決算書の読み方を理解していただき、そして、真似ていただければいいと思います。

最初はとりあえず真似てもらってかまいませんが、真似て決算書を読んだり、決算書を使ったりしているうちに自然と決算書を理解して読めるようになると思います。

決算書が読めるとなんとなく仕事に役立つのではないかと考えている人は多いと思いますが、決算書を読むための勉強をしても、読めない人も多いようです。

この本を手にとった人は、初めて決算書の勉強してみようという人も、一度は勉強したけれど、もう一度勉強してみようという人もいるかもしれません。どういう人であれ、決算書に興味を抱いたことには間違いなと思います。

私は、決算書に興味を持っていた人に、ぜひとも伝えたいことがあります。決算書が読めるようになると、間違いなく仕事に役立てることができるということ。

決算書は、取引先の信用状況を判断するときに利用することがあります。会社の幹部や、経営者であれば、決算書を読むことで自社の状況を知ることができますし、競合会社の状況を知ることができます。また、株式投資をしている人であれば、投資のために使うこともあります。

この本で本当に決算書を読むということを学んだことで、あなたの仕事に変化があらわれることを願っております。

はじめに 002

第1章 決算書は2時間で読めるようになる

- 01 決算書は誰でも読めるようにつくりされている 012
- 02 コスト感覚がある社員だけができること 014
- 03 決算書は3ステップで学ぶ 017

第2章 損益計算書は5つの利益を読む

- 01 経営成績を報告する損益計算書 024
- 02 会社員の損益計算書はどうなるか? 027
- 03 商品・サービス力を表す利益 **売上総利益** 030
- 04 本業で稼ぐ力を表す利益 **営業利益** 036
- 05 会社全体で稼いだ利益 **経常利益** 042
- 06 想定外の損益を含んだ利益 **税引前当期純利益** 045
- 07 最終的に獲得した利益 **当期純利益** 047

第3章 貸借対照表は3つのブロックの関連性を見る

- 01 財政状態を報告する貸借対照表 052
- 02 会社員の貸借対照表はどうなるか? 057
- 03 すぐに換金できる資産 **流動資産** 059
- 04 すぐに換金できない資産 **固定資産** 062
- 05 1年以上効果が続く支出 **繰延資産** 066
- 06 すぐに返さないといけない負債 **流動負債** 068
- 07 すぐに返さなくてもいい負債 **固定負債** 071
- 08 返済が必要ない資金 **純資産** 073

第4章 キャッシュ・フロー計算書は3つに分ける

- 01 おカネの動きを示すキャッシュ・フロー計算書 078
- 02 キャッシュ・フロー計算書の役割 081
- 03 キャッシュ・フロー計算書の構造 085

- 04 事業で稼いだおカネ 営業活動によるCF 088
- 05 投資に使ったおカネ 投資活動によるCF 093
- 06 資金調達・返済を表すおカネ 財務活動によるCF 095

第5章 財務3表のつながりから 見えてくること

- 01 財務3表は関連しあう 098
- 02 会社を設立すると財務3表はこう動く 105

第6章 収益性と安全性を分析する 11の手法

- 01 はじめての決算書の読み方 110
- 02 会社の収益性を見る 112
- 03 赤字が出ていないか確認する 5つの利益をチェックする 114
- 04 規模に対する収益力を知る 対売上高比率 119
- 05 おカネを稼ぐ力を確かめる 営業活動によるCF 122

- 06 効率よく投資しているかを見る ROA（総資産利益率） 124
- 07 会社の安全性を見る 127
- 08 財政の基盤を確かめる 純資産と自己資本比率 129
- 09 借金を返済する力を見る 借入金返済期間 131
- 10 トラブルを耐え抜く力を探る 現金預金を見る 133
- 11 間近な危機を予測する 流動資産と負債・流動負債の比較 135
- 12 おカネの滞留原因を調べる 回転期間 136
- 13 固定資産の調達バランスを見る 固定資産の調達先 138

第7章 経営方針を推察する 比較分析

- 01 収益の変化から経営状況を掴む PL・CSの2期比較 140
- 02 収益力を分解して分析する ROAとROE 160
- 03 赤字転落の可能性を探る 損益分岐点分析 169
- 04 おカネを生み出す力をはかる CFマージン率 177
- 05 安全性の変化から経営状況を掴む BSの2期比較 180
- 06 財政基盤の変化を見る 自己資本比率 189

07	返済能力から経営状況を掴む	流動比率と当座比率	191
08	長期の投資バランスを見る	固定長期適合比率	196
09	借入との付き合い方を見る	債務償還年数	198
10	おカネを回収する能力を見る	売上債権回転期間など	202

第8章 決算書をもっと上手に 利用するために

01	様々な会社の決算書を入手しよう	208
02	決算書の限界を知る	215
03	真実と違う決算書を見抜く	222
04	決算書フレームとして活用する	229